

# 尾道市成長・経営戦略

## 尾道のめざまちの姿～リノベーションからイノベーションへ～

尾道市では、公共施設や民間施設、空き家のリノベーションにより新たな魅力を発信する拠点となっています。そして、瀬戸内でのデザインやアート、サイクリング等の要素を加え、イノベーションを行うことで、さらなる新たな集客や雇用を創出する流れが生まれています。

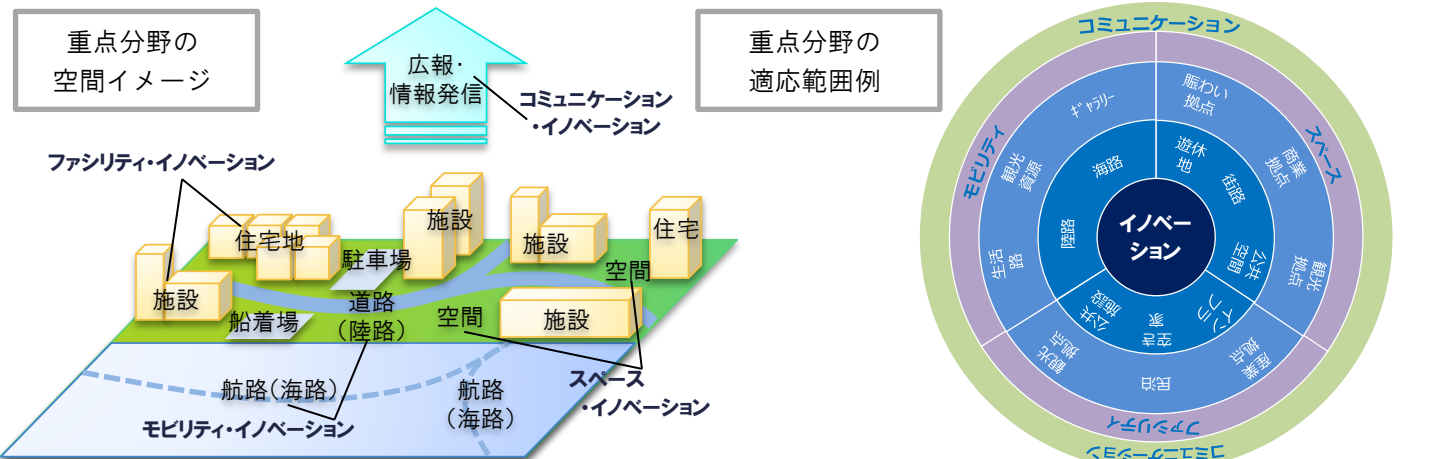
- 遊休化した土地や空間、利用率の低下した施設等の地域資源を活用することで、市内各地にさらなるリノベーションを誘発していくこと
- リノベーションに、民間企業の参画や新たなアイデアの導入により魅力を付加することで、イノベーションへと発展させていくこと

リノベーション及びイノベーションの推進により、本市に新たな魅力や価値を生み出し、まちのブランド力を高めることで、人や民間企業を呼び込む波を起こします。人や企業が集まることで、経済の好循環を生み出し、持続的かつ自律的なまちの成長を進めていきます。



## イノベーション推進の基本戦略

- 基本戦略1：尾道の特性を活かした戦略を実現できる尾道地域資源の活用
- 基本戦略2：4つの重点分野におけるイノベーションの実現
- 基本戦略3：プロジェクトチームによるイノベーション推進体制



## 基本戦略1：尾道地域資源の活用

### 【尾道水道エリア】

本市中央を流れる尾道水道は、尾道港開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄してきました。尾道水道の北側には市街地が広がり、南側には造船所が立地しています。また、日々多くの船が航行するなど、生活交通の場ともなっています。



### 【まちなみエリア】

「坂のまち」として知られる市街地は、山の斜面に住宅や寺院が密集し、入り組んだ狭い路地や坂道が張り巡らされ、独特の景観を創り出しています。

建物の建替えが難しい地形形状により、まちなみには自然と古い建物が多く残り、ノスタルジックな雰囲気を醸し出しています。



### 【しまなみエリア】

全長70kmの日本初の海峡を横断する自転車道として整備され、「サイクリングの聖地」といわれています。洋らんと、わけぎ栽培が盛んな向島、村上水軍や囲碁のまちで知られる因島、瀬戸田レモンに代表される柑橘の生口島と多種多様な観光スポットがあります。



### 【やまなみエリア】

緑豊かな自然や田園環境、保健・医療・福祉への先進的な取り組み、高速交通の整備等内陸交通の結節点などの特徴を持つエリアです。

製造・物流、スポーツ機能などの広域的な拠点の整備や高速道路、新幹線などの広域交通の利便性などを活かし、尾道市の発展を牽引する役割が期待されます。



## 基本戦略2：4つの重点分野におけるイノベーション

### 【ファシリティ・イノベーション】

公共施設や公的不動産、民間施設、その他、空き店舗や空き家などを核として、賑わい交流拠点・ビジネス拠点・人材育成拠点など、周辺地域の実情とニーズに応じた用途でリノベーションし、新たな価値を生み出していきます。

また、寺院や棧橋、その他港関連施設など、尾道らしさを象徴するような施設についても、従来とは異なる機能を付加することで、新たな魅力の発信拠点としてイノベーションを生み出すことが可能となります。



River café SUNSET37 大阪市  
参照：日本都市計画学会関西支部HP

### 【スペース・イノベーション】

まちなかに点在する公共空間や街路等のリノベーションにより、まちのデザイン力を高め、さらに定期的なイベントの開催等により尾道の魅力を発信する拠点として新たな価値を生み出していきます。

また、島嶼・中山間地域を中心に増えつつある耕作放棄地などの遊休地を、人を呼び込む交流拠点としてリノベーションし、地域を元気にする新たなビジネス拠点として新たな価値を生み出していきます。



公共空間のアート展示(直島)  
参照：瀬戸内芸術祭HP

### 【モビリティ・イノベーション】

「海路」「陸路」に、新たな価値を加え、ヒト・モノの流れを生み出すことで、観光客の移動性を高め、さらには市民の利便性を確保する陸・海路の交通シームレス化を推進します。

なお、港町尾道のシンボルである「尾道水道」は“観る”対象から“楽しむ”対象へと新たな価値を付け加え、街並み散策・サイクリングに次ぐ、尾道の新たな観光コンテンツの創出をめざします。



遊覧航路(ひろしま世界遺産航路)  
参照：(株)アクアネットHP

### 【コミュニケーション・イノベーション】

各イノベーションの推進を、広報・情報発信の面から包括的に支援し、本戦略の趣旨に基づくまちのブランド力(イメージ)を高めていきます。

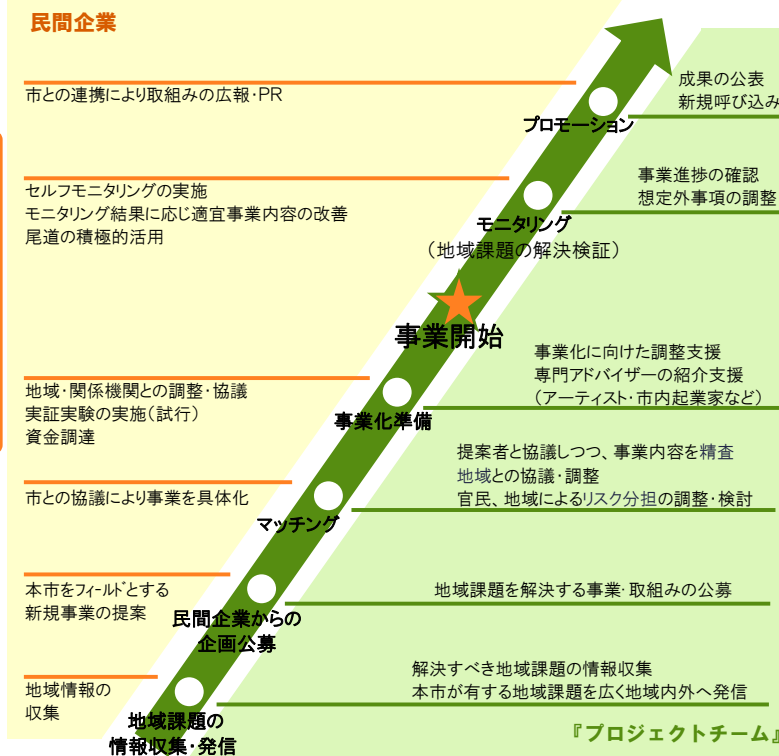
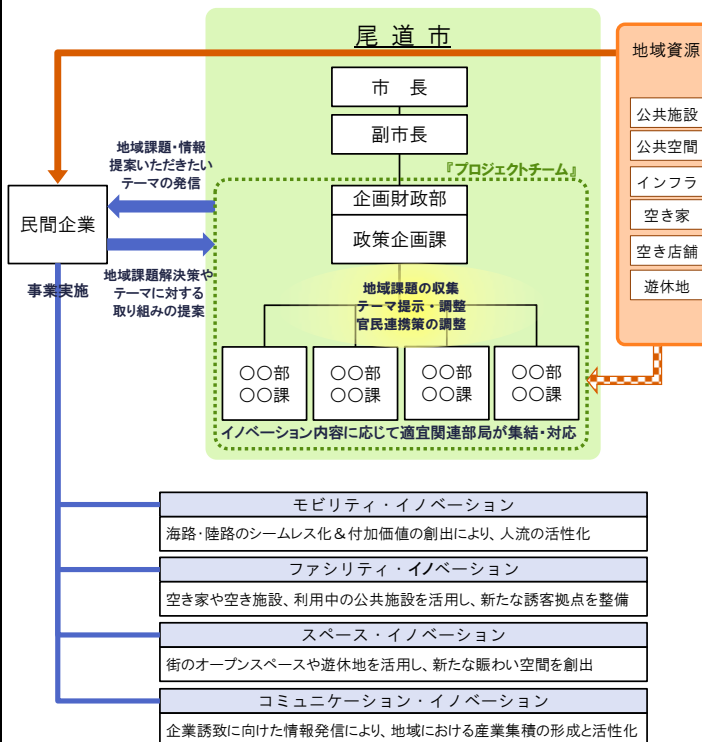
国内外に強力に情報発信することにより、観光やビジネスによる交流人口の拡大、さらには移住による定住者の増加、また新たな起業家や企業の誘致につながるような取り組みを進めます。



参照：ジャパンデザインウィーク資料

## 基本戦略3：イノベーション推進体制

民間企業による提案を積極的に受け入れ、イノベーション内容に応じて、関連部局によりプロジェクトチームを組織し、事業化を積極的に支援します。



課題整理からプロモーションまでの、一貫したコーディネート、サポートを行い、民間企業との共創による新たな事業創出へとつなげる展開イメージ